

# 平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	都市計画審議会事業			会計	款	項目	大	小
				01	08	04	01	02
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	都市計画課				
施策	1-3	個性ある公共空間・歴史環境の形成と保全	主管課長	武田 淳				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民等	意図	適正な都市計画の手続きを進めるため、公平かつ専門的な調査及び審議を行う。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市長からの付議、諮問に応じて市が定める都市計画や都市計画に関する事項を調査及び審議する。</li> <li>・公平かつ専門的な立場から調査及び審議を行い、適正な都市計画の決定を行う。</li> </ul>			
事業開始から現在までの状況変化	平成12年4月に都市計画法の改正により流山市都市計画審議会条例を制定。平成23年9月に同条例を改正し、自治基本条例を踏まえ可能な限り市民の声を活かしていくため、公募の市民委員3人の任命を行った。学識経験者7人、市議会議員4人、県職員1人、市民委員3人、計15人で組織されている。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	① 開催回数	2	3	4	回	→→	
	② 出席委員数	24	40	51	人	→→	
	③ 案件数	7	5	6	件	→→	
	④						
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 都市計画審議会は年に2～3回開催している。 委員への女性の登用が求められているが、平成27年10月1日の委嘱において女性委員の割合は減少した。 次回の委嘱は平成29年10月1日である。現在の女性委員の割合は、20.0%である。（委員15人中、女性委員3人）
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		2,967,600	3,016,000	3,364,800	委員への女性の登用が求められているが、平成27年10月1日の委嘱において女性委員の割合は減少した。 次回の委嘱は平成29年10月1日である。現在の女性委員の割合は、20.0%である。（委員15人中、女性委員3人）		
事業費(b)(円)		172,800	252,000	352,800			
うち一般財源		172,800	252,000	352,800			
職員給与費(c)(円)		2,794,800	2,764,000	3,012,000			
人役・職員(人)		0.40	0.40	0.40			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	審議会の効率化を図るため、資料の精度を上げ、都市計画審議会委員への早期配布を行う。	③取組の課題	女性委員の割合が伸びない。
②今年度(H27)に実施した取組	全委員に資料配布する前に、会長と打合せ、精度の向上と議事運営を円滑なものとするべく改善を図った。	④今後の改善計画	円滑な議事進行に向けた、適切な資料作成と、女性委員の拡充。